

もくじ 表紙裏

安全にお使いいただくために 1~3

- 表示の説明について 1
- 警告 2
- 注意 3

使用上の注意 4

- 守っていただきたいこと 4

各部のなまえとはたらき 5~7

- 補助テーブルのはずしかた 5
- フリーアームの使いかた 5
- 補助テーブル/付属品 5
- 補助テーブルふたのはずしかた 5
- 本体(前面) 6
- 本体(後面) 7

縫うための準備 7~17

- 針と糸、布地の関係 7
- 正しい針の選びかた 8
- 針の取りかえかた 8
- 押えのはずしかた 9
- 押えの取り付けかた 9
- 電源コード接続の前に 10
- 電源を入れる 10
- ミシンをスタートさせる 11
- 別売りフットコントローラーの使いかた 11
- ボビンの取り出しかた 12
- 下糸の巻きかた 12
- 下糸のかけかた 14
- 上糸のかけかた 15
- 針穴糸通し器の使いかた 16~17
- 下糸の引き上げかた 17
- 模様を選びかた 17

縫ってみる 18~25

- 直線模様を縫う 18
- 返し縫い 19
- 縫い方向のかえかた 19
- 厚い布地の縫い始め/段縫い 19
- 上下糸調子のとりかた 20
- 布裏がタオル状になるとき 20
- ジグザグ縫い模様 /ふちかがり 21
- ボタンホールの作りかた 22~23
- まつり縫い (ブラインドステッチ) 23
- 点線ジグザグ縫い 24
- パッチワーク 24
- 伸縮強化縫い 25
- アップリケ 25

お手入れのしかた 26~27

- お手入れの前に 26
- ゴミをとる 26 (外ガマ内と送り歯ミゾすき間)
- ◆ボビンケースを装着する 27
- ランプの交換 27
- 注油について 27

こんなときは 28~29

修理サービス要項/仕様 30



サービス工場のご案内 31

安全にお使いいただくために








●表示の説明について

この取扱説明書および商品には、安全にミシンをお使いいただくためにいろいろな表示をしています。以下の表示を無視し、誤った取り扱いをすることにより生じる内容を、次のように区分しています。

以下の内容をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

 警告	この表示を無視して誤った使い方をすると、人が死亡または重傷を負うおそれがある内容を示しています。
 注意	この表示を無視して誤った使い方をすると、人がケガをしたり財産に損害が生じるおそれがある内容を示しています。

この説明書で使用している絵文字の意味は次のとおりです

危険性を促す記号		
		
火災の原因になります	感電の危険性があります	ケガの危険性があります
行為を「禁止」する記号		
		
してはいけないこと	分解禁止	
行為を「指示」する記号		
		
必ずすること	電源プラグをコンセントから抜く	

- このミシンは日本国内向け家庭用です。For use in JAPAN only.
国外での使用および職業用としてご使用になった場合の保証はいたしかねます。
- 仕様および外観は品質改善のため、予告なく変更することがあることを、ご了承ください。
- 取扱説明書の内容は予告なく変更することがありますので、ご了承ください。
- 取扱説明書の内容を許可なく無断で複製をすることは禁じられておりますのでご了承ください。

安全にお使い
いただくために



警告



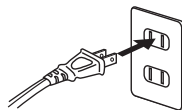
死亡、火災、感電のおそれがあります。

安全にお使い
いただくために



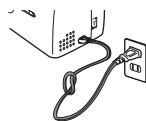
火災・感電の原因となります。

一般家庭用電源AC100Vの電源以外では絶対に使用しないでください。



AC100V 50/60Hz

電源コードを傷つけたり、折り曲げ、結び、ねじれ、加工はしないでください。

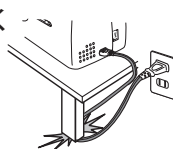


傷付いたり、溶けて線がむき出しになった電源コードを使わないでください。

*コードが傷付いた場合は販売店・サービスセンターにて純正の電源コードをお買い求めください。



電源コードに机や椅子の脚など、重いものを載せないでください。

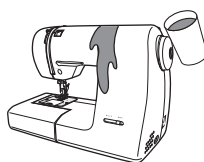


延長コードや分岐コンセントを使用したタコ足配線はしないでください。



火災・感電の原因となります。
販売店・サービスセンターに
ご連絡ください。

ミシンの中に水や異物が入ったときは、電源を切り、電源プラグを抜いてください。



発煙や異臭、異音などの異常が発生したら電源を切り、電源プラグを抜いてください。



落としたり正常に作動しないときは、電源を切り、電源プラグを抜いてください。





注意



ケガや財産に損害が生じるおそれがあります。

安全にお使い
いただくために



電源コードを引き抜くときは電源プラグを持ってください。
コードの断線や接触不良による感電の原因になります。



電源コードはミシンに巻き付けしないでください。
コードの断線や接触不良による感電の原因になります。



濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。
感電の原因になります。



不安定な場所に置かないでください。
動作中に、はずみ車・針・天ビンに手を触れないでください。
手や指をはさむ、指に針が刺さるなどケガの原因になります。

曲った針は使わないでください。
針が折れ、ケガの原因になります。

すべり板を開けたままミシンを操作しないでください。

縫製中に布を無理に引っぱったり押しついたりしないでください。
手や指をはさむ、指に針が刺さるなどケガの原因になります。



ミシンを使用しないときは、電源プラグを抜いてください。
絶縁劣化、漏電などによる火災の原因になるおそれがあります。

ミシンから離れたり使用を中断するときは、電源プラグを抜いてください。
火災の原因になるおそれがあります。



幼児の手が届かない場所に保管してください。
針や押えなどの突起でケガの原因になるおそれがあります。

糸をセットするときやミシンの手入れを行うときは電源スイッチを「切」にしてください。
作業途中にミシンが動くおそれがありケガの原因となります。



ミシンの操作中はミシンから目を離さないでください。

交換した針を放置しないでください。

お子様が使用するときや、お子様の近くで使用するときは特に安全に注意し、
お子様から目を離さないでください。

針・押え・アタッチメント・ランプを交換するときは、
電源スイッチを「切」にしてください。
作業途中にミシンが動くおそれがありケガの原因となります。

屋外や直射日光のあたる場所、高温多湿な環境、寒い場所での使用は
避けてください。
部品の劣化や変形、正常に作動しないことがあります。

使用上の注意

●守っていただきたいこと

長くお使いいただくため、次のことを守ってください。

業務用や縫製以外の目的には、ご使用にならないでください。
極度の部品摩耗や破損につながります。



注意



ケガやミシンの故障が発生するおそれがあります。

○曲がった針を使わない

曲がった針を使うと、次のようなケガや部品の損傷につながります。

- ・針穴に刺さらず、折れた針が飛びケガをするおそれがあります。
- ・押えや針板に傷を付け、糸調子が合わなくなります。

○このミシンで縫えないもの

つぎのものはこのミシンでは縫えません。針やモーターなどに過度の負担をかけ、故障の原因になるだけでなく、針折れなどの原因にもなります。

- ・木、プラスチック、金属などの板
- ・ぬれた布、粗い網(漁網など)
- ・はずみ車を手で回しても、針が刺さりにくい布
- ・厚さ6ミリ以上の布

○保管時の結露(つゆつき)について

寒いところから、暖かい室内に持ち込んだときや、冬の朝など暖房を入れたばかりの部屋では、本体の表面や内部に結露(つゆつき)が起こることがあります。

結露がなくなるまで、電源を入れずにお待ちください。
そのままお使いになると感電や誤動作・故障の原因になります。

○直射日光・熱気をさける

直射日光が当たる場所や熱器具の近くには置かないでください。プラスチックのカバー部分や内部部品に変色・変形や部品劣化などの悪い影響を与えますのでご注意ください。

○糸がらみのとき、糸・布を引っぱらない

針や部品の破損します。

絡んだときは針板をはずし、針糸と針板裏側の糸を切ると布がはずれます。

○ミシン表面のお手入れ

プラスチック部分の汚れがひどいときは、中性洗剤をぬるま湯に薄め、布に浸してかたく絞り、乾いた布で拭いてください。

ベンジン・シンナー・ワックスなどで拭かないでください。

○説明書で指定された以外の分解・改造はしない

ネジ類の締め忘れやゆるみにより、針折れや部品の破損につながります。

○使用した後、上糸と糸立棒をはずす

糸をかけたまま収納すると、糸立棒を破損します。上糸と糸立棒をはずし、カバーをかけてください。

○長期間ご使用にならないとき

長期間ご使用にならないと、油の乾燥・固着などで機能に支障をきたす場合があります。時々、ミシンを動かしてください。油の固着を防ぐことができます。

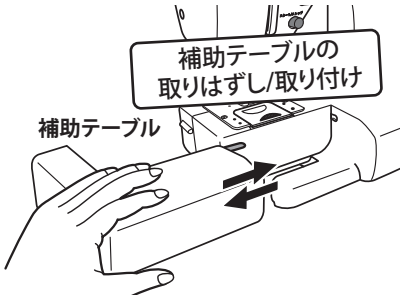
各部のなまえとはたらき



注意

同梱している付属部品でお様がケガをするおそれがあります。取り扱いに注意して下さい。

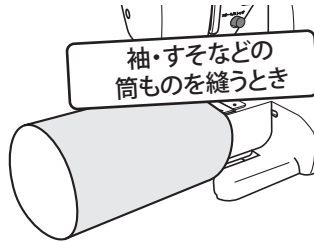
●補助テーブルのはずしかた



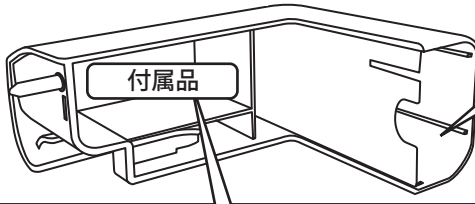
○補助テーブルは左上の図のように取りはずすことができます。

○補助テーブルをはずすと、ベッド部分は右上の図のようにフリーアームとしてお使いいただけます。フリーアームは袖・すそなどの筒ものを縫うときに便利です。

●フリーアームの使いかた



●補助テーブル/付属品



電源コード



ボビン×3コ



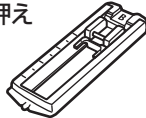
針パック
家庭用ミシン針
(3本入り)
11、14、16



針板 ※1 ドライバー



ボタンホール 押え



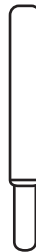
糸コマ押え



ブラシ



リッパー



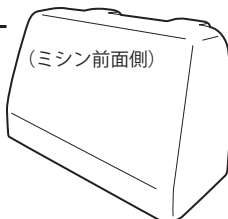
●補助テーブルふたのはずしかた



それぞれのすき間より指を入れてふたを引き出します。

※1 針板ドライバーは針板止めネジだけでなく、針止めネジ・押えホルダー止めネジにも使用します。

ミシンカバー



(ミシン背面側)

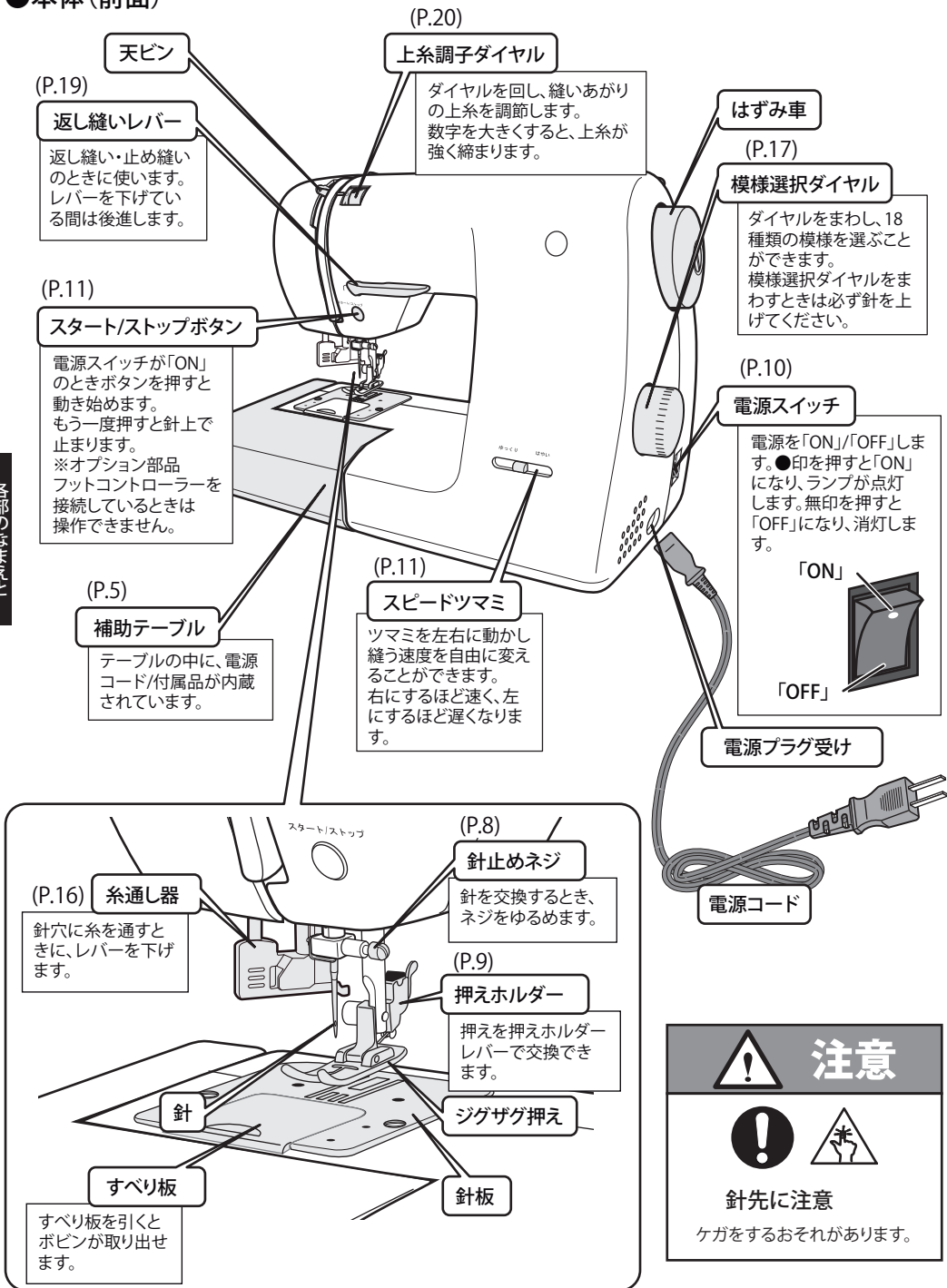


手持ちハンドル用穴

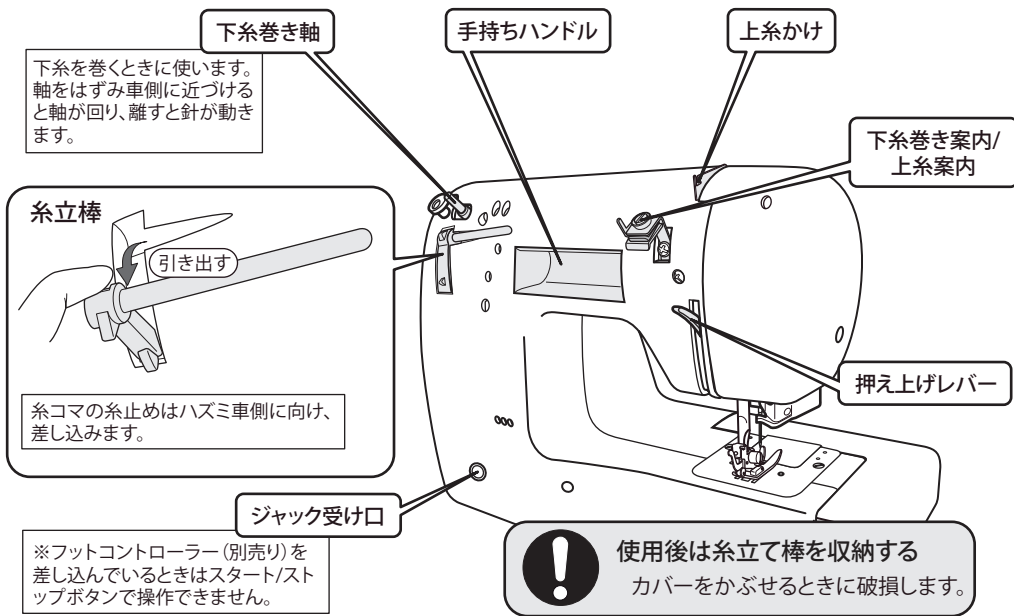
ミシンカバーでミシンを覆ったまま持ち運びができます。

●本体(前面)

各部のなまえを
はたらいき



●本体(後面)



縫うための準備





●針と糸、布地の関係

- きれいに縫うためには、布地に合った針と糸をご使用ください。(下表参照)
- 上糸と下糸は同じ種類・同じ太さのものをご使用ください。
- 針は家庭用ミシン針(HAX1)、糸は家庭用ミシン糸とご指定の上お買い求めください。
- 工場出荷時、ミシンには14番の針が装備されています。
(その他付属の針は P5 参照)

布地の種類		糸の番号 ※1	針の番号 ※2
薄地	薄地ジョーゼット、ボイル、タフタ、オーガンジー、絹布など。	綿 80~100 絹 60 ~ 80 化繊糸 80~100	9~11
普通地	さらさ木綿、薄手コーデュロイ、ピケ、ギンガム、リンネル、サテン、別珍、一般服地など。	綿 50 ~ 80 絹 50 化繊糸 50 ~ 80	11~14
厚地	ギャバジン、ツイード、キルティング、デニム、コーデュロイ、タオルなど。	綿 40 ~ 50 絹 50 化繊糸 50 ~ 60	16
伸縮性の生地	ダブルニット、トリコット、スパンデックス、ジャージなど。	綿 60 化繊糸 50 ~ 80 ニット用糸	ニット用針 11~14

※1:糸は数字が大きくなるほど細くなります。
※2:針は数字が大きくなるほど太くなります。

●正しい針の選びかた

 注意	 	曲がった針を使わない 針が折れ、飛び散るおそれがあります。ケガをするおそれがあります。
		針は家庭用ミシン針(HA×1)を使う 上糸と下糸は原則的に同じ種類・同じ太さのものを使う



- ・目飛び・糸がらみがする場合は、ミシンについている針先が曲がっていたり、つぶれていないかを確認してください。
- ・不良の針を使い続けると、きれいに縫えないばかりでなく、針板や釜に傷をつけます。新しい針に交換してください。



※ガラスのような平らな面に置き、針の曲がり具合を確認してください。

●針の取りかえかた

 注意	電源スイッチを「OFF」にする ケガをする恐れがあります。
---	---

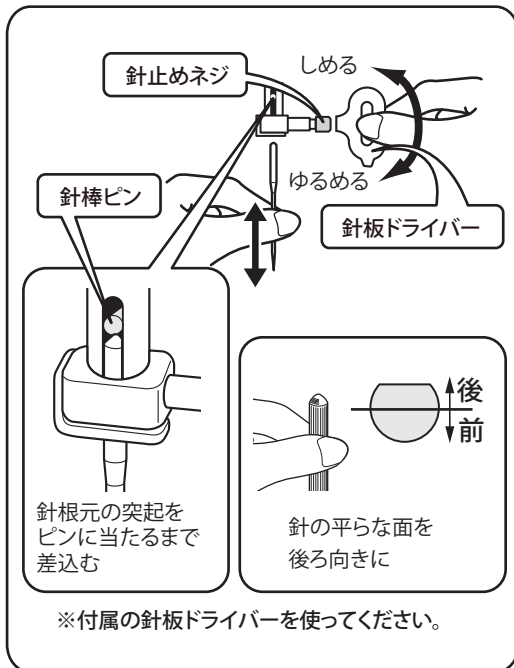
 	針先に注意する ケガをする恐れがあります。
--	---------------------------------

1 はずみ車を手前にまわし、針を上げます。





2 針ははずす/つける

はずす: 取り付けられている針を持ち、針止めネジをゆるめ、針を下に引き抜きます。

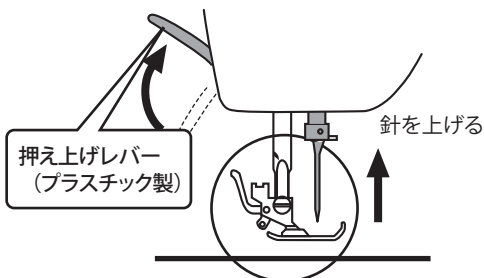
つける: 平らな面を向こう側に持ち、右図の針棒ピンに当たるまで差込み、針止めネジをしめます。



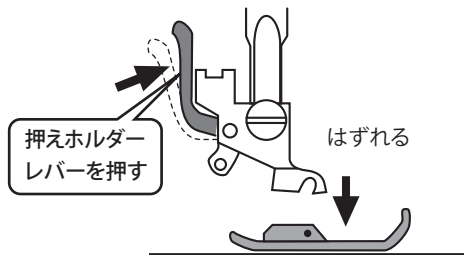
●押えのはずしかた

 注意	 	電源プラグを抜く 突然動くとかげをするおそれがあります。
	 	針先に注意 ケガをするおそれがあります。





1 押え上げレバーを上げる



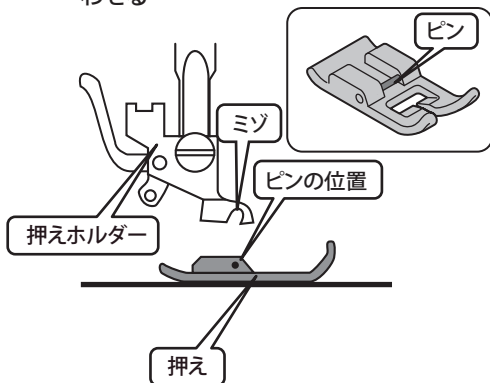
2 押えホルダーレバーを押しジグザグ押えをはずす



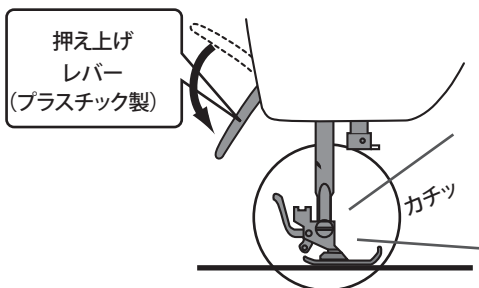
●押えの取り付けかた

 注意	 	電源プラグを抜く 突然動くとかげをするおそれがあります。
	 	針先に注意 ケガをするおそれがあります。


1 押え上げレバーを上げ、押えのピンを本体の押えホルダーミズの真下にあわせる



2 押え上げレバーを下げる



押え上げレバーを下げてカチッと音がすると、押えが装着できています。



押えを取り付け後に、押えが上がらない場合は、もう一度押えの位置を少しずらして繰り返してください。



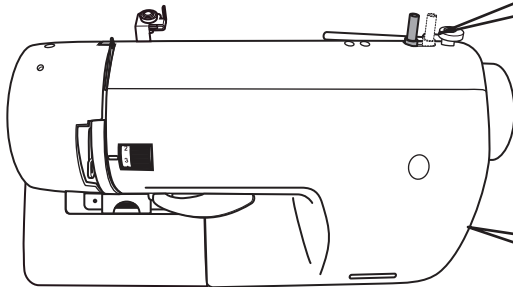
注意

安定した場所に設置する
作業スペースを十分に確保する
周囲に物を置かない

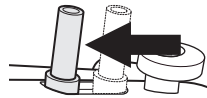
※ ミシンを持ち運ぶ際には、後面のハンドル部分に手を掛けて持ち運びます。

●電源コード接続の前に

- 1 電源スイッチ (はずみ車側下端) を「OFF」にします。
- 2 下糸巻き軸 (ミシン上部はずみ車横) を左に寄せます。
(右にあると針は上下に動きません)



下糸巻き軸



スタート/ストップスイッチ
で針が上下する状態

電源「OFF」



右側面
(はずみ車下)

「OFF」
電源スイッチ



警告



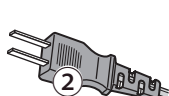
電源コードはプラグを
持ち抜き差しをする

死亡、火災、感電のおそれがあります。



AC100V 50/60Hz

電源コードの接続



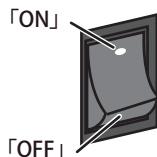
電源コード

●電源を入れる

- 3 電源コードのプラグ①をミシン本体の電源プラグ受けに、プラグ②をコンセントに差し込みます。
- 4 電源スイッチを「ON」にすると照明ランプが点灯します。

電源プラグ受け

電源「ON」

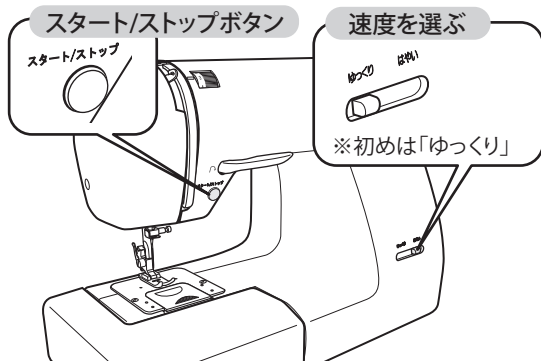


「ON」
電源スイッチ

●ミシンをスタートさせる

- 5 スタート/ストップボタンを押すと針がゆっくりと上下を始めます。もう一度このボタンを押すと針は上で止まります。
- 6 ミシンの速度は自由に選ぶことができます。慣れるまでは「ゆっくり」にして始めてください。

※フットコントローラーを接続しているとき、スタート/ストップボタンは操作できません。

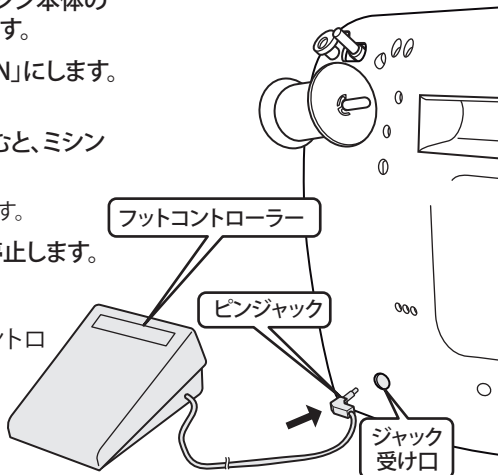


●別売りフットコントローラーの使いかた

	注意				火災・感電・ケガのおそれがあります。
	作業が終わったら、フットコントローラーのピンジャックを抜く フットコントローラーのピンジャックの取り扱いに注意してください。				
	フットコントローラーに物を載せない				

- 1 フットコントローラーのピンジャックをミシン本体のジャック受け口に奥まで確実に差込みます。
- 2 電源コードを接続し、電源スイッチを「ON」にします。(P10参照)
- 3 フットコントローラーを少しずつ踏み込むと、ミシンが動き始めます。
踏み込むほどミシンのスピードが速くなります。
- 4 踏み込むのをやめるとミシンは針上で停止します。

★ミシン本体のスピードつまみでフットコントローラーでの最高速度が調節できます。



ワンポイント

スピードがおそい…



スピードつまみを「はやい」にする

つまみが「おそい」の位置にあるとフットコントローラーを踏み込んでもスピードが速くなりません。






ミシンが動かない…

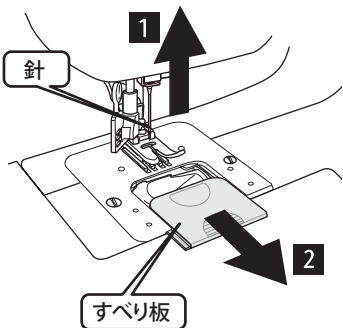


スタート/ストップボタンでは動きません

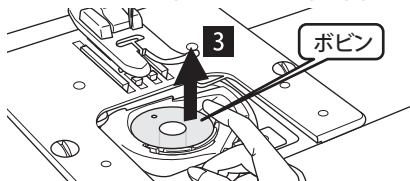
フットコントローラーを接続しているときは、スタート/ストップボタンを押しても動きません。

●ボビンの取り出しかた

 注意	 	電源プラグを抜く 突然動くとケガをするおそれがあります。
	 	針先に注意 ケガをするおそれがあります。



- 1** はずみ車を手前にまわし、針を一番高い位置まで上げます。
- 2** すべり板を手前に引き、開きます。
- 3** ボビンケースの中のボビンを取り出します。



●下糸の巻きかた

糸案内台
(下糸巻き案内)

糸案内台高さ調節ネジ


下糸巻き軸

3


1

2


良い



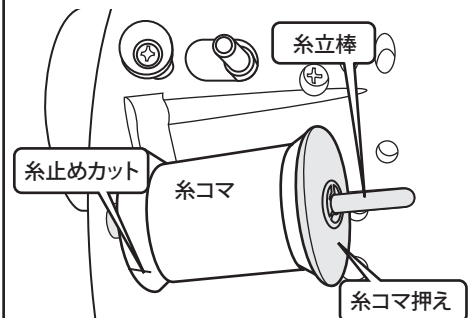
糸案内台
を下げる



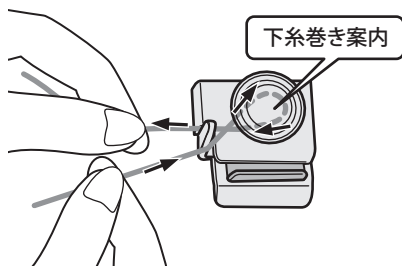
糸案内台
を上げる



- 1** 糸コマは、糸止めカットをはずみ車側に向け差し込みます。糸コマ押えは膨らみを糸コマに向け抜けないように押えます。



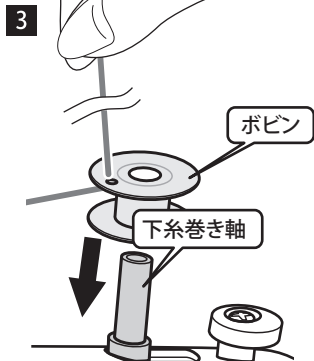
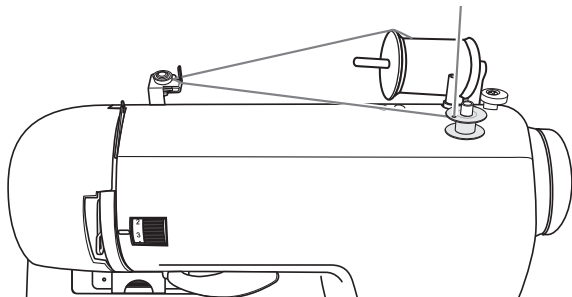
※ ボビンの糸が均一に巻けない場合は糸巻き案内台の下のネジを180度ゆるめ、糸案内台の高さを調整します。



- 2** 下糸巻き案内下には糸を時計回りにかけます。

3 下糸巻き軸にボビンをセットする

ボビンの穴に内側から糸を通し、ボビンを下糸巻き軸に差し込みます。

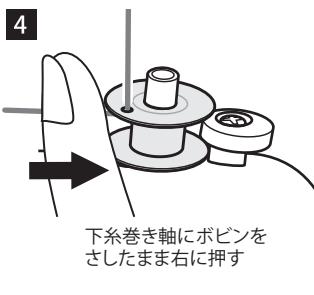


4 下糸巻き軸にボビンをさしたまま、右側によせる

5 電源スイッチを「ON」にする (P10参照)

6 スピードツマミを「ゆっくり」にする (P11参照)

7 スタート/ストップボタンを押し、糸巻き軸をスタートさせる (P11参照) ボビンの穴からの糸をつまんだまま、スタート/ストップボタンを押します。



回転しているボビンに触れない
ケガの原因になります。



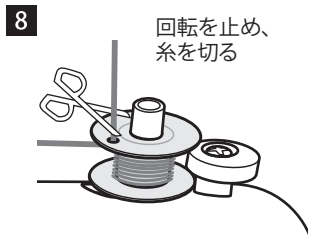
下糸巻き中は針は
動きません。

8 下糸巻き軸を止める

スタート/ストップボタンを押します。

9 つまんでいた糸を切る

つまんでいた糸は必ずボビンの穴部分で切り落としてください。



10 再び、スタート/ストップボタンを押す

そのままボビンの回転がストップするまで糸を巻き続けます。

11 下糸巻き軸を止める

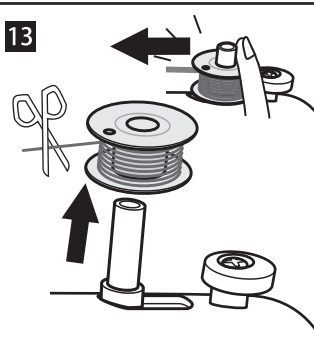
ボビンの下糸巻き軸が止まったら、スタート/ストップボタンを押します。

12 電源スイッチを「OFF」にする

突然動くとかげをする恐れがあります。

13 下糸巻き軸を左側に戻し、ボビンを引き抜く

下糸巻きが完了です。糸を切り、ボビンを内ガマにセットしましょう。



縫うための準備

●下糸のかけかた

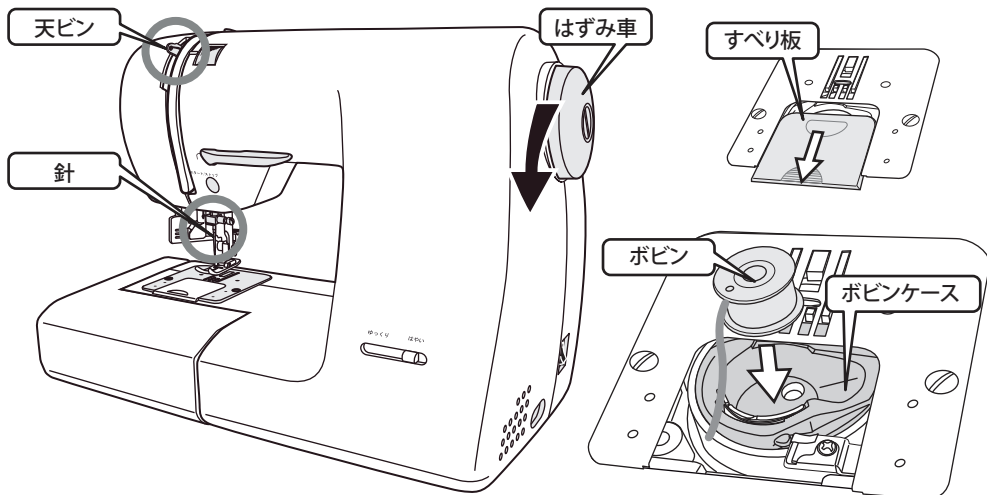


注意

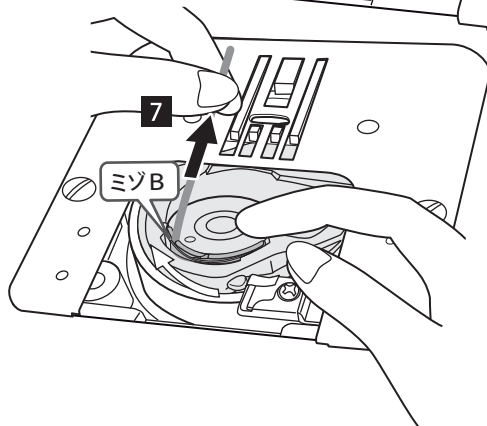
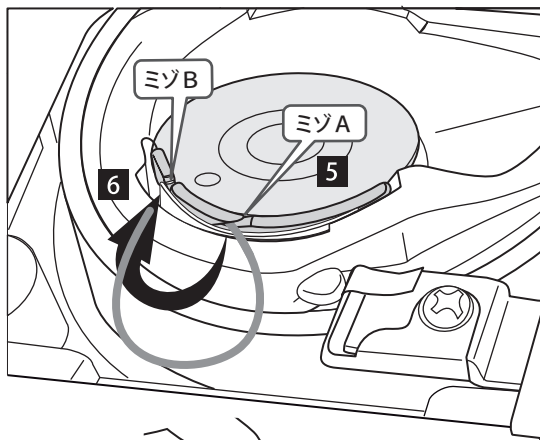


電源スイッチを「OFF」にする

突然動くとケガをする恐れがあります。



- 1 はずみ車を手前にまわし、針・天ビンを上げます。
- 2 押え上げレバーを上げます。
- 3 すべり板を開きます。
- 4 ボビンから糸を10cmほど引き出し、ボビンの左から糸が出るようにしてボビンケースにセットします。
- 5 ボビンを軽く指で押え、引き出した糸を **ミゾA** にかけます。
- 6 かけた糸を手前に引っ張り、**ミゾA** から左側へすべらせませす。
- 7 糸を **ミゾB** の上のにせ、矢印の方向に10cmほど引き出します。
- 8 すべり板を閉めます。



針に注意する

ケガをする恐れがあります。

●上糸のかけかた



注意



電源スイッチを「OFF」にする

突然動くとかげをする恐れがあります。

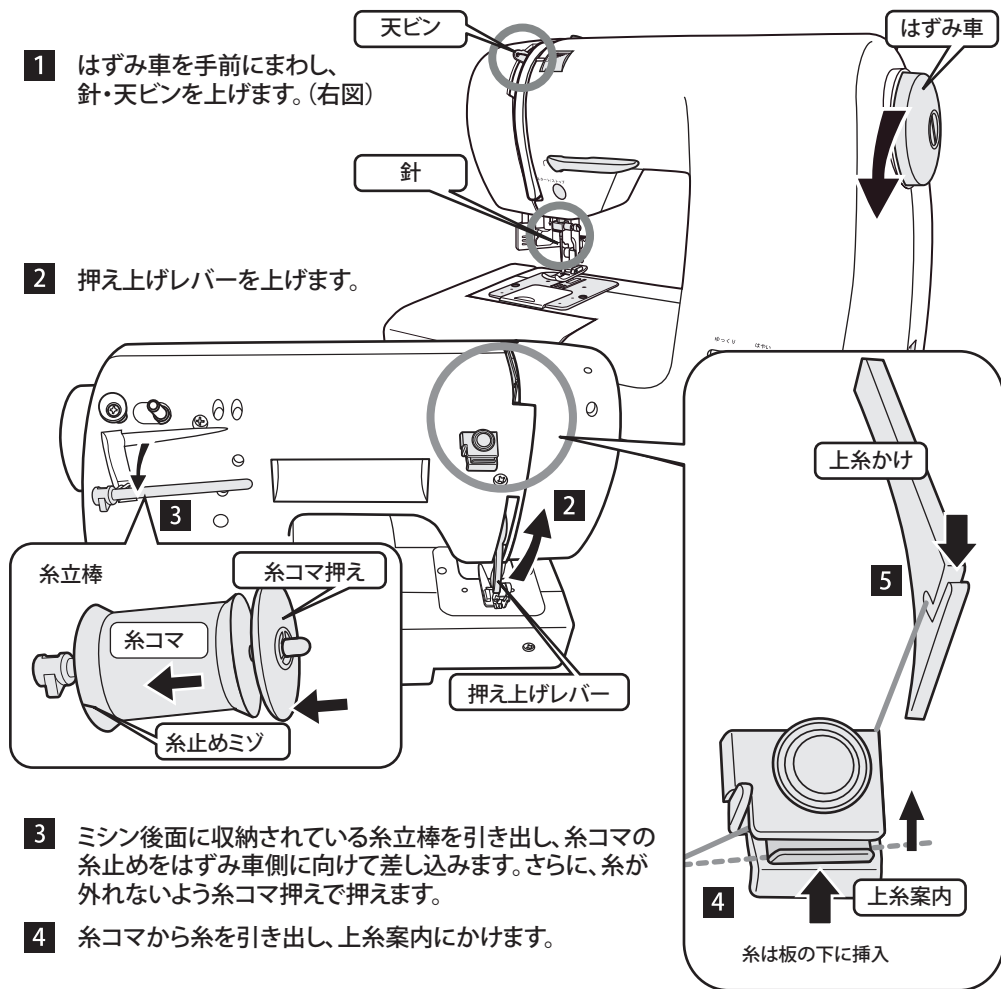
- 1 はずみ車を手前にまわし、針・天ピンを上げます。(右図)

- 2 押え上げレバーを上げます。

- 3 ミシン後面に収納されている糸立棒を引き出し、糸コマの糸止めをはずみ車側に向けて差し込みます。さらに、糸が外れないよう糸コマ押えで押えます。

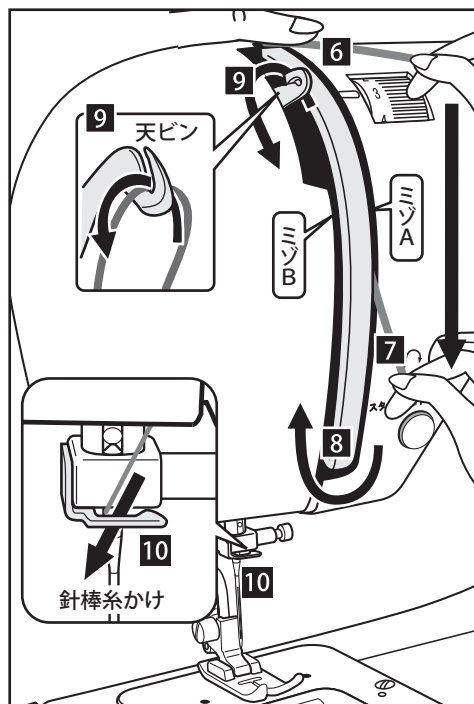
- 4 糸コマから糸を引き出し、上糸案内にかけます。

- 5 上糸かけに糸をかけます。



縫ったための準備

- 6 糸かけで糸を押え、**ミゾA** に上から糸を入れます。
- 7 糸を押えたまま**ミゾA** をなぞり、ミゾ下まで糸を引き下げます。
- 8 引き下げた糸を**8** につけ、**ミゾB** をなぞり、引き上げます。
- 9 **8** から引き上げた糸を天ビンに拡大図のように右から左へかけます。
- 10 天ビンから下へ**ミゾB** をなぞり、針棒糸かけまで引き下げ、図のように右からかけます。



●針穴糸通し器の使いかた

上糸かけの **1** ~ **10** まで終わったあと、針穴糸通しをします。

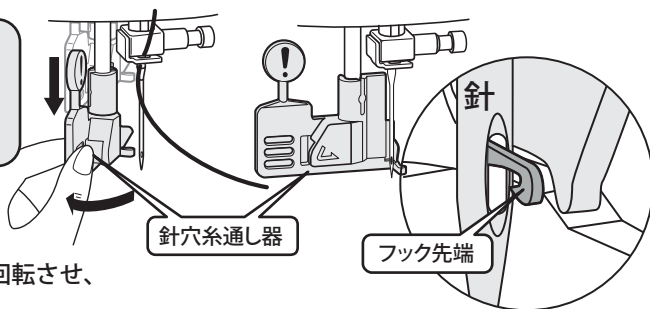


このミシンの針穴糸通し器は針の太さが #11 以上でお使いください
#10 より細い針は使えません。



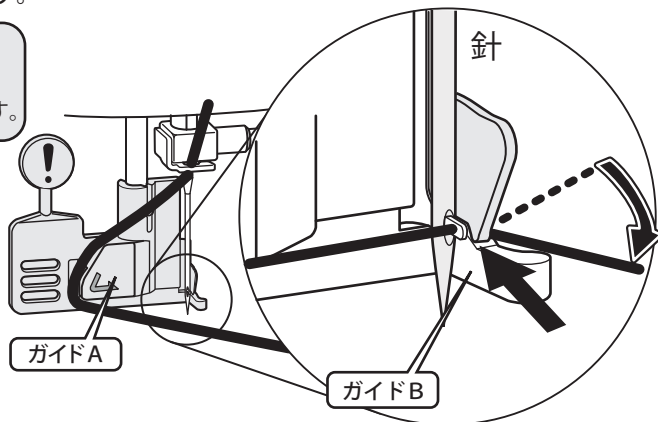
押えを下げ、針を一番上まで上げる
フック先端と針穴の高さを一致させるため。

- 1 針穴糸通し器をつまみ、引き下げます。
- 2 針穴糸通し器を下けたまま回転させ、手を離します。
針穴にフック先端が通ります。

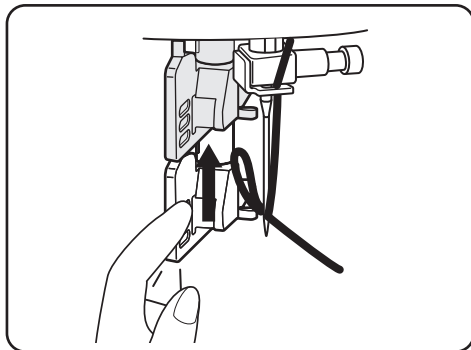


針穴糸通し器操作中は、針を上下させない
フック先端が破損します。

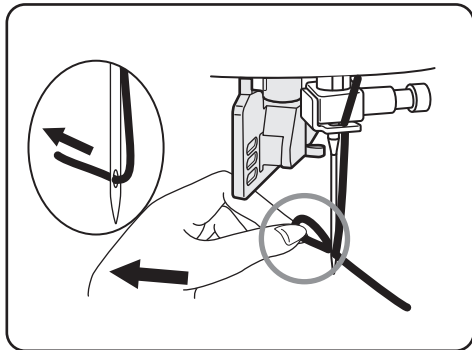
- 3 **2** のまま、**ガイドA** につけた糸を右水平にし、**ガイドB** に糸のをせ、針に糸を押し当てます。



- 4 針穴糸通し器を戻します。
針穴後ろに糸の輪ができます。

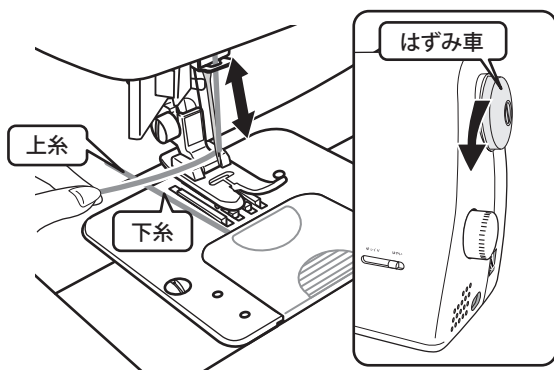


- 5 針の後に残っている糸の輪をつまみ、
引き出します。

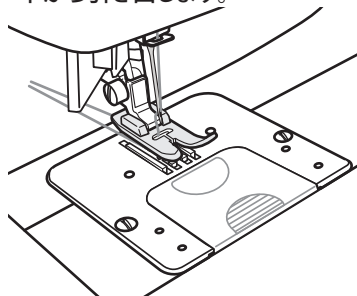


● 下糸の引き上げかた

- 1 針穴からの糸はしを持ち、針が最上点になる
まではずみ車を手前にまわします。
- 2 糸はしを軽く引っ張ると、下糸が
上がります。



- 3 上下糸をそろえ、10cmほど押えの
下から引き出します。



縫ったための準備

● 模様の選びかた



針穴の糸を持ち、はずみ車を針が
最上点になるまでまわす

模様選択時に、針が下がっていると
左右に動くため曲がります。
また、糸がかかっているときは絡ま
ないように注意してください。

模様選択ダイヤルをまわし、お好みの模様に
します。

ダイヤルは前後どちらにもまわすことができます。

縫ってみる

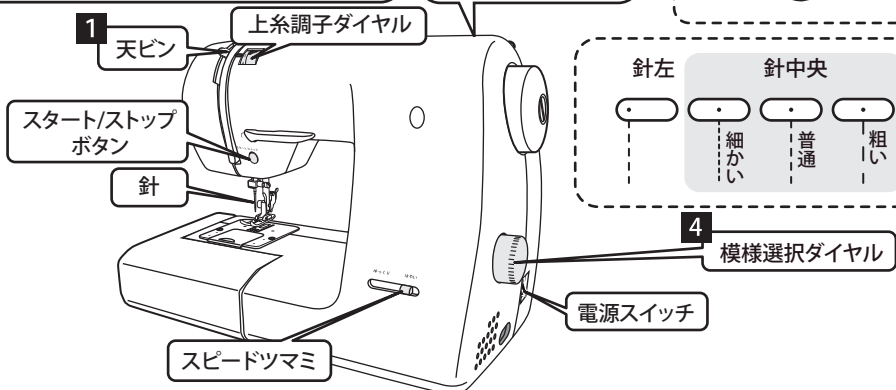
●直線模様を縫う



下糸巻き軸を左にしてください
下糸巻き軸が右側にあると、針が
上下しません。



ジグザグ押え



針左

針中央



4 模様選択ダイヤル

電源スイッチ

スピードツマミ



縫い始めるときは、押えを下げます
糸が絡み、縫い損じになります。



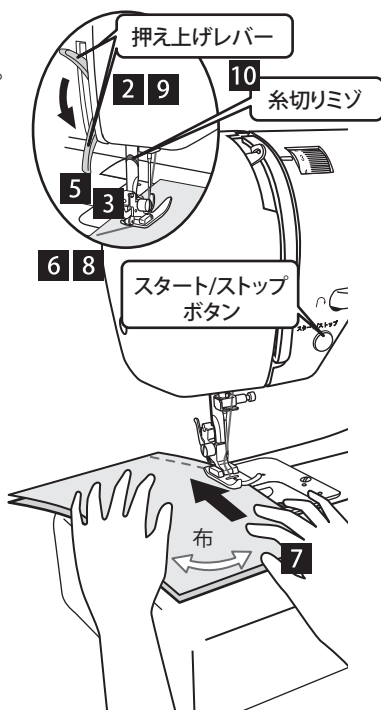
模様選択時は、針を上げます
針が折れ、ケガをします。

- 1 糸が絡まないように糸はしを持ち、針・天ピンが上がるまではずみ車を手前にまわします。
- 2 押えを上げ、上下糸を10cmほど引き出します。
- 3 押えの下に布地をおきます。
- 4 直線模様 (4種類から) を選びます。
- 5 縫い始める位置に針をさし、押えを下げます。



針先に注意する
ケガをする恐れがあります。

- 6 電源スイッチを「ON」にし、スタート/ストップボタンを押します。
- 7 縫う箇所によって、布地の向きを調整します。
- 8 もう一度スタート/ストップボタンを押し、ミシンを停止させる。(針上で停止します)
- 9 押えを上げ、布地を引き出します。
- 10 押え棒背面側の糸切りミゾで糸を切ります。

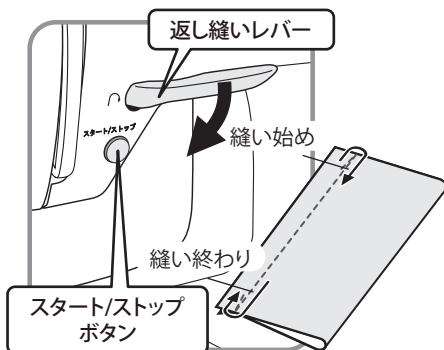


●返し縫い

- 1 返し縫いレバーを下に押し下げながらスタート/ストップボタンを押すと布地が後進します。
- 2 返し縫いを終えるときは、返し縫いレバーから手をはなすと前進縫いに戻り、もう一度スタート/ストップボタンを押すと止まります。

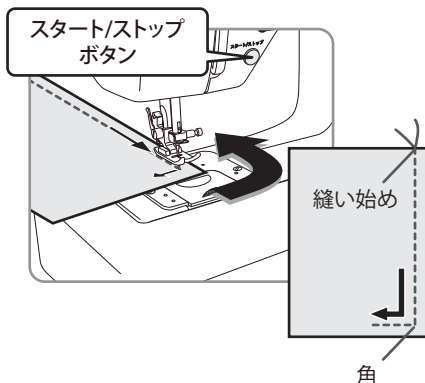
ワンポイント

縫い始めと縫い終わりに3～5針返し縫いをしておくと縫い目がほころびず、丈夫になります。



●縫い方向のかえかた

- 1 布地の角まできたら、スタート/ストップボタンを押し、ミシンを止めます。
- 2 はずみ車を手前にまわし、針を布地に刺します。
- 3 布地に針を刺したまま、押えを上げます。
- 4 針を軸にして布地を回し、縫い方向を変えます。
- 5 押えを下げて、縫い始めます。

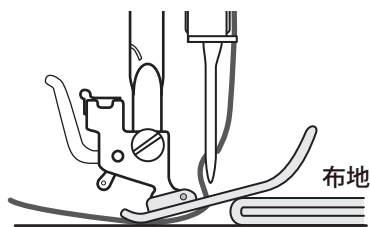


●厚い布地の縫い始め／段縫い

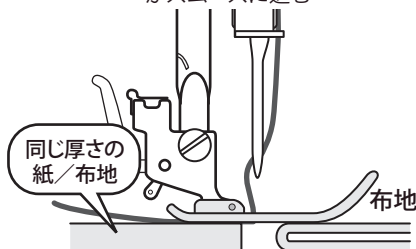
厚い布地のはしから縫い始めるときは、押えが傾いてスムーズに布地が進まないことがあります。このようなときは、押えの下に同じ厚さの布地や厚紙をあてて縫い始めます。(押えが水平になり、布地が引っかかなくなります)

また段縫い(布地が重なり急に厚くなる部分)では手前でミシンを一時停止させ、速度を「ゆっくり」にして布地が進むように補助しながら再び縫い進めてください。

押えが斜めになり、布地の山を越えられない



押えが水平になり、布地がスムーズに進む



針先に注意する

ケガをする恐れがあります。

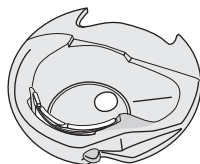
同じ厚さの紙／布地

●上下糸調子のとりかた



ボビンケース(下糸)のネジは調整しないでください

一度調整するとともに戻らなくなります。次に、縫うときに上下糸調子が合わなくなります。



正常な糸調子

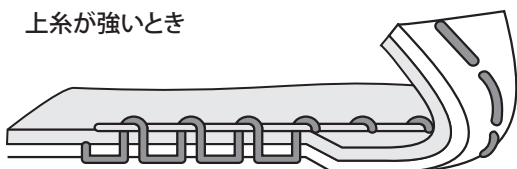


このミシンはブロード布2枚厚さで「3」程度にあわせています。



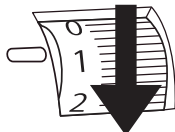
■糸調子が合わない場合は

上糸が強いとき



上糸がついている場合は上糸を弱めます。

数字を小さくする

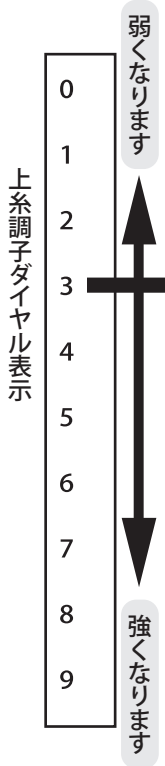
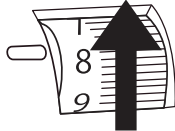


下糸が強いとき(上糸が弱いとき)

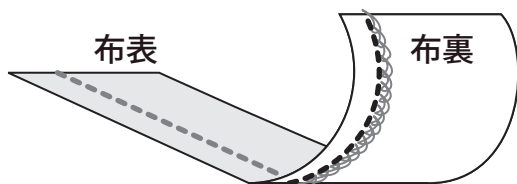


下糸がついている場合は上糸を強めます。

数字を大きくする



●布裏がタオル状になるとき



左図のように布地の表側は普通に縫え、裏側がタオル地のようにするのは上糸の調子が弱いか上糸のかけかたがまちがっています。P15~16をごらんのうち、正しくかけ直してください。また、上下糸調子の調節のしかたをご覧ください。

●ジグザグ縫い模様/ふちかがり



下糸巻き軸を左にしてください
下糸巻き軸が右側にあると、針が
上下しません。



針先に注意する
ケガをする恐れがあります。



模様選択時は、針を上げます
針が折れ、ケガをします。

1 糸が絡まないように糸はしを持ち、針・天ビンが
上がるまではずみ車を手前にまわします。

2 模様選択ダイヤルをジグザグ／ふちかがり縫
い模様に合わせます。

布地のほつれ止め端縫いや伸縮性のある布
地を縫うなど、いろいろな用途に使えます。

ワンポイント

ジグザグ／ふちかがり縫い模様は直線模様に比べ、
糸調子をわずかに弱めるときれいに仕上がります。

ジグザグ押え



小



中



大

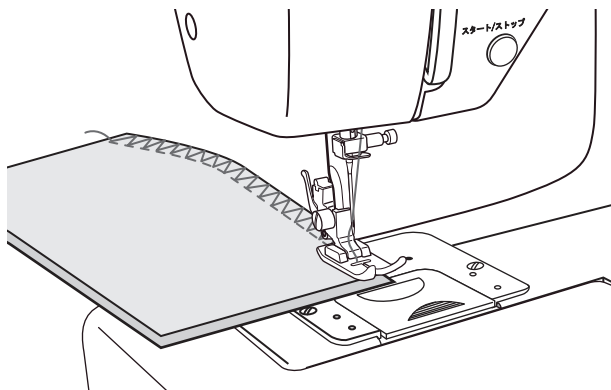


密着

ジグザグ模様



ふちかがり模様



● ボタンホールの作りかた

※押えの取りかえかたは、P9をご覧ください。

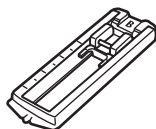


下糸巻き軸を左にしてください
下糸巻き軸が右側にあると、針が上下しません。



模様選択時は、針を上げます
針が折れ、ケガをします。

ボタンホール押え



◆ 準備

- 1 ジグザグ押えをはずし、ボタンホール押えを取りつけます。
- 2 ボタンの大きさと厚さ、布地の種類に応じてボタン穴の長さを決めます。

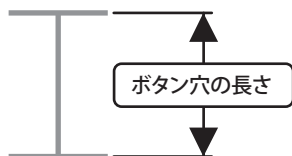


針先に注意する

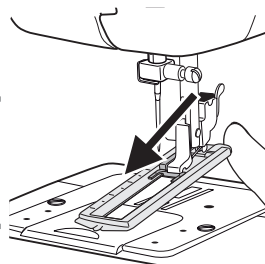
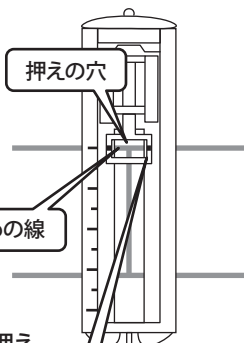
ケガをする恐れがあります。

ボタンホール押えは下げるときに外枠を手前に引いておきます。

ボタン穴の長さ=ボタンの直径+厚み



縫い始めの線



- 3 布地をボタンホール押えの下におき、押えの赤い線を布地の縫い始めの線に合わせ、布地のボタン穴の中心線が押えの穴の中央になるようにして押えを下げます。

ボタンホール押えの赤い線

ボタンホール押え外枠は前後にスライドします。

◆ 縫い方

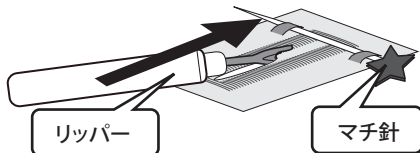
模様	1	2	3	4
縫い方	<p>AからBの位置でミシンを止めます。</p>	<p>5~6針かんぬき止めをし、ミシンを止めます。</p>	<p>BからCの位置でミシンを止めます。</p>	<p>5~6針かんぬき止めをし、ミシンを止めます。</p>

◆ボタンホールができれば・・・



先端に注意する
(リッパー、マチ針)
ケガをする恐れがあります。

- ・付属のリッパーで切り開きます。
- ・切り過ぎないように、マチ針等を使用します。(ストッパーになります)



リッパー

マチ針

●まつり縫い(ブラインドステッチ)



模様選択時は、針を上げます
針が折れ、ケガをします。

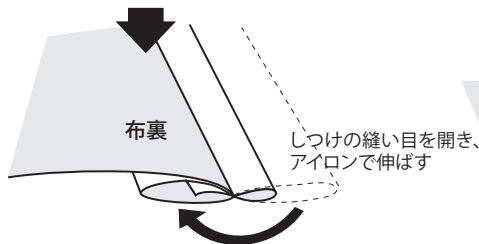


針先に注意する
ケガをする恐れがあります。

- 1 糸が絡まないように糸はしを持ち、針・天ピンが上がるまではずみ車を手前にまわします。
- 2 模様選択ダイヤルをまわし、まつり縫い模様を選びます。

ズボンやスカートの裾上げ、袖口の裁縫に用います。服の寸法直しなどにもご利用いただけます。

- 3 布地を図のように折り、しつけをします。
- 4 はずみ車を手前にまわし、針が左はしで布裏がわずかにかかる位置で押えを下げ、「ゆっくり」のスピードで縫いはじめます。
- 5 ミシンを止め、布地をはずします。
- 6 縫いあがった布地を返し、しつけ糸を抜きます。



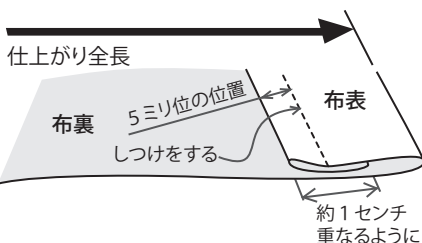
しつけの縫い目を開き、アイロンで伸ばす

まつり縫い模様では針が左はしするとき、布地の折山に針がかかる量が少ないほどきれいに仕上がります。また、布地の折山に針にかからなければ仕上がりが目とびになります。

ジグザグ押え



まつり縫い 伸縮まつり縫い



仕上がり全長

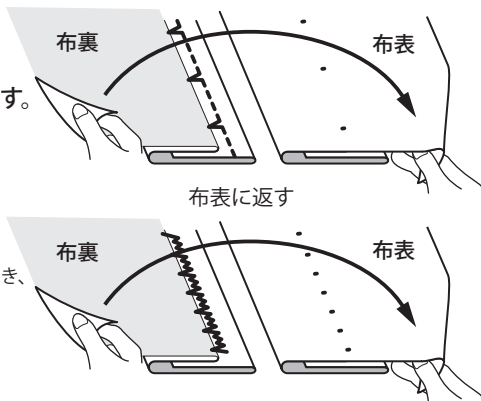
布裏

5ミリ位の位置

布表

しつけをする

約1センチ重なるように



布表に返す

布裏

布表



縫い始めるときは、押えを下げます
糸が絡み、縫い損じになります。

●点線ジグザグ縫い



下糸巻き軸を左にしてください
下糸巻き軸が右側にあると、針が
上下しません。



針先に注意する
ケガをする恐れがあります。



模様選択時は、針を上げます
針が折れ、ケガをします。

1 糸が絡まないように糸はしを持ち、針・天ビンが上がるまではずみ車を手前にまわします。

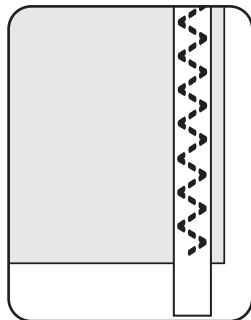
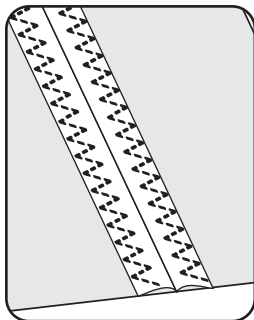
2 模様選択ダイヤルをまわし、点線ジグザグ模様を選びます。

ジャージやトリコットなどの伸縮性のある布地の縫製に適したジグザグ縫いです。布地が伸びても縫い糸が切れません。伸縮性布地の縁かかりやゴムひもの縫い付けにも利用できます。

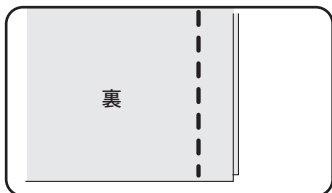
ジグザグ押え



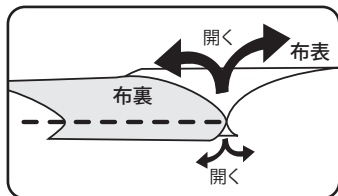
点線ジグザグ模様



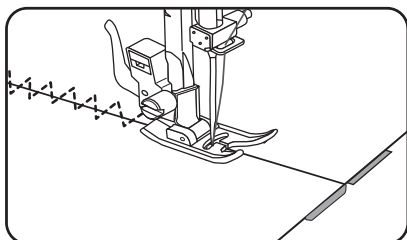
●パッチワーク



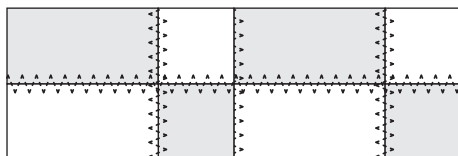
1 二枚の布地の表を合わせ、直線縫いで縫い合わせをします。



2 縫い合わせを開きます。



3 両方の布地に模様がまたがるようにして縫います。



いろいろな布地を縫い合わせ、装飾に使います。

●伸縮強化縫い



下糸巻き軸を左にしてください
下糸巻き軸が右側にあると、針が
上下しません。



模様選択時は、針を上げます
針が折れ、ケガをします。



針先に注意する
ケガをする恐れがあります。



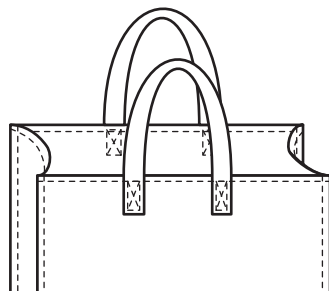
1 糸が絡まないように糸はしを持ち、針・天ピン
が上がるまではずみ車を手前にまわします。

2 模様選択ダイヤルをまわし、いずれかの伸縮
強化縫い模様(4種類)を選びます。

ジャージ・メリヤスなどの伸縮性布地や、力がかか
ってほつれやすい部分、デニムなどの丈夫な布地
の縫い合わせに最適です。

伸縮性布地を縫う場合は、ニット針を使うと、目飛
びや糸切れを防ぎます。

三重直線縫いは布地をのぼしても縫い糸は切れ
ません。また非常に強くのびない縫い目です。



●アップリケ

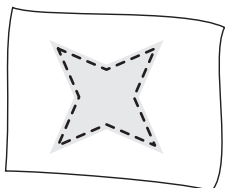
市販や自作のアップリケ布地を丈夫に縫いつけます。



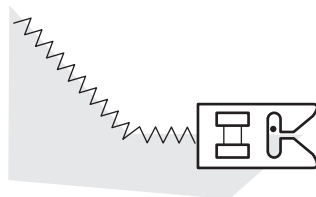
1 アップリケ布地を止めます。のり付けまたはしつけをします。

2 アップリケ布地の布はしを縁かがりと同じ要領で縫います。

急な角度を縫う場合、布はしに針を落とした状態で押えを
上げ、布をまわします。



のり付けまたはしつけをします



お手入れのしかた



注意



電源プラグを抜く

突然動くとケガをするおそれがあります。



針先に注意

ケガをするおそれがあります。

カマの中にほこりや糸くずがたまることでミシンの回転が重くなるだけでなく、故障の原因になります。次の手順で掃除や確認を行ってください。



針をはずします

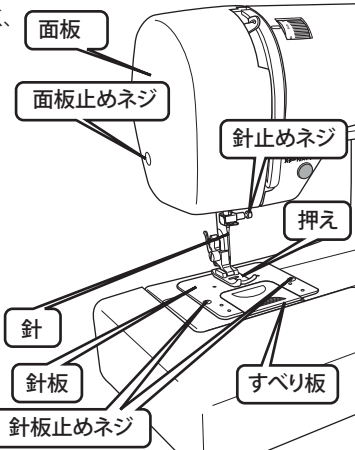
ケガをするおそれがあります。

●お手入れの前に

- 1 押え上げレバーで押えを上げます。
- 2 すべり板をはずし、上糸、下糸(ボビン)をはずします
- 3 はずみ車をまわし、針を上げます。
- 4 針板ドライバーで針止めネジをゆるめ、針をはずします。(P8参照)

●ゴミをとる(外ガマ内と送り歯ミゾすき間)

- 5 針板をはずします。
針板止めネジ2本を針板ドライバーではずします。
- 6 ボビンケースがボビンケースストッパーで回らないことを確認します。
通常、ボビンケースは回転しません。ボビンケースストッパーで止められています
- 7 ボビンケースをはずします。
- 8 外ガマのほこりや糸くずを取り除きます。
付属のブラシを使用します。



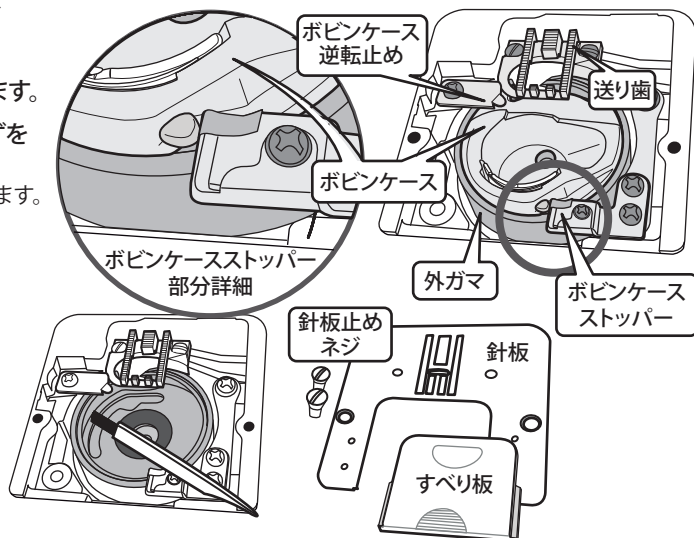
外ガマの先端に触れない

ケガをするおそれがあります。



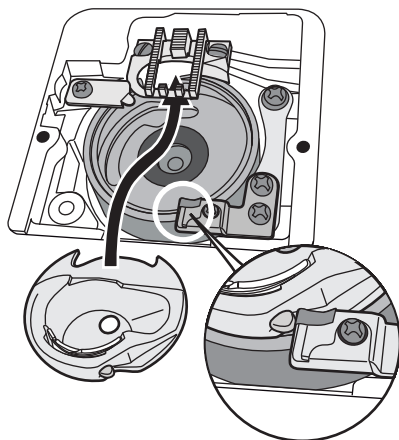
掃除中ははずみ車に触れない

ケガをするおそれがあります。



◆ボビンケースを装着する

- 9 ボビンケース外周のへこみ部分を送り歯の下に挿入し、水平に外ガマの上に置きます。
 - 6 のボビンケースストッパーにセットされていることを確認します。
- 10 カマ・ボビンケースより手を離し、はずみ車が抵抗なくまわることを確認します。
ボビンケースは回転させません。
- 11 針板をのせ、針板止めネジでしっかり固定します。
- 12 もう一度、はずみ車をまわします。
正常にセットされているかを確認します。



外ガマの先端に触れない
ケガをするおそれがあります。



カマ部分は注油しない
糸がからみ、故障します。



電源プラグを抜く
ケガをするおそれがあります。

●ランプの交換



ランプに注意!!
熱くなっています。
割れてケガをします。

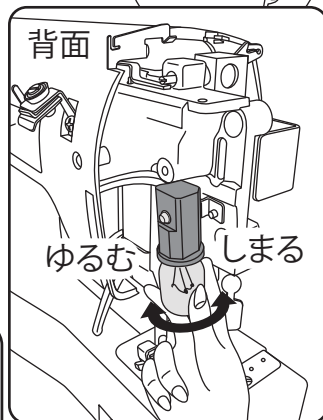
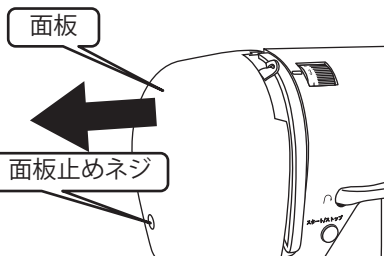
- 1 面板止めネジをはずし、面板を取り除きます。
- 2 ランプを左にまわし、はずします。
- 3 新しいランプをまっすぐに右にまわし、奥までしめます。

●注油について

このミシンは注油の必要はありません。長期にご使用にならない場合は、ほこりや油の乾燥などで動かなくなることがあります。ご購入店または当社のサービス係にお問い合わせください。



はずみ車がまわらないときは、電源を切ってください
ケガをするおそれがあります。
破損や故障します。



こんなときは(調子が悪い場合)

ミシンの調子が悪い場合は、まず次のことを確かめてください。

不 具 合	原 因	処 置	参 照 ページ
ミシンが 動かない	<ul style="list-style-type: none"> ●電源プラグの差し込みが不十分である ●電源スイッチが入っていない ●下糸巻き軸が右になっている 	<p>しっかり差し込みます</p> <p>電源スイッチを入れます 下糸巻き軸を左にします</p>	<p>P10</p> <p>P10 P10</p>
上糸が切れる	<ul style="list-style-type: none"> ●糸のかけ方がまちがっている ●ボビンケースに糸がからまっている ●針の取り付け方がまちがっている ●糸調子が強すぎる ●布地に対して糸が弱すぎる 	<p>正しくかけ直します。 からんだ糸を取りのぞきます</p> <p>正しくつけ直します。</p> <p>適正な強さに調節します。 布地と糸、針の関係を合わせます</p>	<p>P15、16 P26、27</p> <p>P8</p> <p>P20 P7</p>
下糸が切れる	<ul style="list-style-type: none"> ●ボビンのセットがまちがっている ●ボビンケースに糸がからまっている ●かまに糸くずがたまっている ●下糸の調子が強すぎます 	<p>正しくセットし直します</p> <p>からんだ糸を取りのぞきます 掃除をします 上糸がはずれている</p>	<p>P14</p> <p>P26、27</p> <p>P26、27 P15、16</p>
縫い目かとぶ	<ul style="list-style-type: none"> ●針の取り付け方がまちがっている ●針が曲がっているか、先がつぶれている ●布地に対して糸と針が合っていない 	<p>正しくつけ直します</p> <p>針を取りかえます</p> <p>布地と糸、針の関係を合わせます</p>	<p>P8</p> <p>P8</p> <p>P7</p>
縫い目がしわになる	<ul style="list-style-type: none"> ●糸のかけ方がまちがっている ●ボビンのセットがまちがっている ●針の先がつぶれている ●糸調子が強すぎる 	<p>正しくかけ直します 正しくセットし直します</p> <p>針を取りかえます 適正な強さに調節します</p>	<p>P15、16 P14</p> <p>P8 P20</p>
布地を送らない	<ul style="list-style-type: none"> ●縫い目の長さが布地に合っていない ●送り歯に糸くず、ごみがたまっている 	<p>模様を選び直します</p> <p>掃除します</p>	<p>P17、18</p> <p>P26、27</p>

不 具 合	原 因	処 置	参 照 ページ
針が折れる	<ul style="list-style-type: none"> ●布地を無理にひっぱっている ●針の取り付け方がまちがっているか、止めかたがゆるい ●布地に対して、針が細すぎる ●糸調子が強すぎる 	<p>手は布地にそえるだけにします 正しくつけ直します</p> <p>布地と糸、針の関係を合わせます 適正な強さに調節します</p>	<p>P18</p> <p>P8</p> <p>P7</p> <p>P20</p>
回転が重く音が高い	<ul style="list-style-type: none"> ●かまの内部に糸くず、ごみがたまっている ●送り歯にごみがたまっている 	<p>針板をはずして掃除します</p> <p>針板をはずして送り歯を掃除します</p>	<p>P26、27</p> <p>P26、27</p>
縫い目に輪ができる	<ul style="list-style-type: none"> ●ボビンのセットがまちがっている ●糸のかけかたがまちがっている ●糸調子がつり合わない 	<p>正しくセットし直します</p> <p>正しくかけ直します</p> <p>適正な強さに調節します</p>	<p>P14</p> <p>P15、16</p> <p>P20</p>
布地の裏側がタオル布のようになる(??ページ)	<ul style="list-style-type: none"> ●上糸のかけ方がまちがっている ●上糸調子ダイヤルが0になっている 	<p>正しくかけ直します</p> <p>適正な強さに調節します</p>	<p>P15、16</p> <p>P20</p>

ここに記載されている項目以外の不調、または部品の交換、電気系統の故障の修理サービスは、ご購入店または修理サービス要領に示す「お客様相談係」におたずねください。

修理サービス要項

●修理サービスのご相談

1. このミシンのご購入者には、ご購入日から1年間の「無料修理保証書」が発行されます。内容をお確かめの上、大切に保管してください。
2. 修理サービスは無料保証期間内および期間経過後も原則としてご購入店が承ります。ご相談ください。
3. 修理サービスについてお問い合わせやご不審のある場合は、ご購入店または、サービス工場へお申し付けください。

●修理用部品の保存と供給

動力伝達機能部品および縫製機能部品のうち、交換修理に必要な部品は、ご購入の日から通常8年間は必要に応じて当社よりご購入店に供給できる体制を整えています。

●無料修理保証期間後の修理サービス

1. 取扱説明書の無料修理保証期間を経過しても修理用部品の供給可能期間中は、ご購入店を通じて有料修理サービスをします。ただし、次に該当する場合は有料でも修理できない場合があります。ご購入店にご相談ください。
 - イ. 保存上の不備または誤使用による不調、故障または損傷したとき。
 - ロ. 浸水、冠水、火災等、天災、地変により不調、故障または損傷したとき。
 - ハ. ご購入後の移動または輸送による不調、故障、損傷したとき。
 - 二. ご購入店または当社の指定する販売店あるいはサービス店以外で修理、分解、または改造したための不調、故障または損傷したとき。
2. 長期間にわたり使用されたミシンの精度劣化は修理によって修復できないことがあります。
3. 有料修理サービスの場合の費用は別に定める必要部品、交通費および技術費用の合計金額となります。

仕様

形式	YM-9000EXNシリーズ	周波数	50Hz/60Hz
寸法	幅37.3cm・奥行17.3cm・高さ25.8cm	カマ形式	水平全回転カマ
重量	5.8kg	ボビン	HAプラスチックボビン
定格電圧	家庭用交流電源 100V	押え高さ	針板面より約6mm
消費電力	55W(口径E12ランプ5w含)	最大送り長さ	3.8mm
適用針	HA×1 #9～#16	最大針振幅	5.0mm

上記仕様は予告なく変更されることがあります。

サービス工場のご案内


純正部品のご購入は、購入店または下記のサービス工場へお申し込みください。
ご購入いただきましたマシンは下記の専門工場にて点検修理等のサービスを実施いたします。なお、サービスには有償の場合があります。サービス工場にお問い合わせの上、ご送付ください。

※ 修理マシンをご送付の際には、このマシンに使われていた外箱と発泡スチロールをご利用ください。

送付先

〒544-0022 大阪市生野区舍利寺3-12-5 TEL06-6717-5851

株式会社アックス・ヤマザキ ミシンサービス係 行

フリーダイヤル 0 1 2 0 - 4 0 - 5 8 5 1

(月～金 午前9:00～12:00 午後1:00～5:00 土曜・日曜・祭日休み)

メモ

A series of horizontal dashed lines for writing, spaced evenly down the page.

メモ

A series of horizontal dashed lines for writing notes.

ミシン 保証書

形 名	YM-9000EXNシリーズ	機 械 番 号	
※お買い上げ日	年 月 日	保 証 期 間	お買い上げ日より本体 1年
※お客様	ご住所	〒 _____ TEL _____ 様方	
	フリガナ ご芳名	_____ 様	
※販売店	住 所	〒 _____	
	店 名	_____ TEL _____	

※印欄に記入のない場合は有効とはなりませんから、必ず記入の有無をご確認ください。もし、記入がない場合には、直ちにお買い上げの販売店にお申し出ください。本書は、再発行致しませんので、紛失しないように大切に保管してください。

本書は、本記載内容で、無料修理をさせていただくことをお約束するものです。

- お客様の取扱説明書、本体添付ラベルなどの注意書による正常なご使用状態で、保証期間中に故障した場合には、商品と本書をご持参、ご提示のうえ、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。無料修理をさせていただきます。
- なお、保証期間中の修理など、アフターサービスについてご不明の場合は、お買い上げの販売店または直接下記へご相談ください。
- 次のような場合は、保証期間内でも有料修理になります。
 - (1)ご使用上の誤り、および不当な修理や改造による故障および損傷。
 - (2)お買い上げ後の落下や運送上の故障および損傷。
 - (3)火災、塩害、ガス害、地震、風水害、落雷、異常電圧、およびその他の天災地変による故障および損傷。
 - (4)本書のご提示がない場合。
 - (5)本書に、お客様名、お買い上げ日、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書きかえられた場合。
 - (6)一般家庭用以外（たとえば業務用など）にご使用の場合の故障および損傷。
 - (7)ご使用後のキズ、変色、汚れ、および保管上の不備による損傷。
 - (8)消耗部品の交換。
- 本書は、日本国内においてのみ有効です。
This Warranty is valid only in Japan
- ご転居の場合は、事前にお買い上げの販売店にご相談ください。
- ご贈答品などで本保証書に記入してあるお買い上げ販売店に修理がご依頼できない場合には、直接下記へご相談ください。
- 出張修理をご依頼の場合は、出張に要する実費を申し受けます。

修理メロ

※この保証書は、本書によって明示した期間、条件のもとにおいて、無料修理をお約束するものです。したがって、この保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありません。なお、ご不明の場合は、お買い上げの販売店または直接下記へ、お問い合わせください。

【輸入製造元】



〒544-0022 大阪市生野区舍利寺3丁目12番5号
TEL (06) 6717-5851~3/FAX (06) 6741-7875

株式会社 **アックス** **アマザキ**